

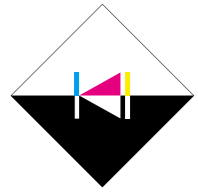


△ KINGLISH

第三回

会話レッスン

英語と日本語の
発音の違い



第三回 会話レッスン編

英語と日本語の発音の違い

発音における違い

- 英語は表音文字であるため、日本語以上に音の出し方に特徴がある。
- 英語は音声の塊として意味を捉えるため、単語と単語が重なると音が変わる。
- 英語と日本語でもっとも違いが表れるのは「リズムの取り方」である。



- POINTS ▶▶▶
- 内容語と機能語を理解する。
 - 英語は内容語でリズムを形成する。
 - 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

リズムの取り方が異なる要因

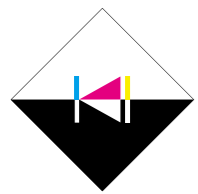
イントネーション

余分な音の追加

母音・子音の発音

息づかい

リズムのずれ



第三回 会話レッスン編

英語と日本語の発音の違い

リズムのずれが生じる理由

- 日本語は高さ（ピッチ）アクセント
- 英語は強さ（ストレス）アクセント
- この違いによりリズムに大きなずれが生じてしまう。

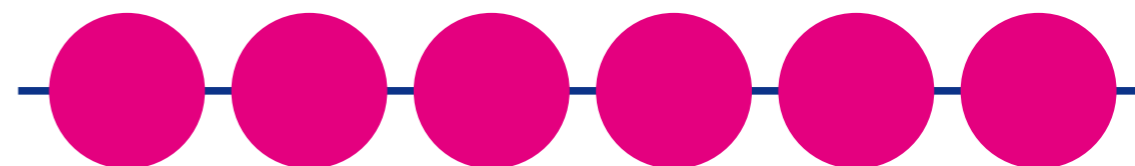
【*この違いはフォニックスパートにて詳細を説明している。】



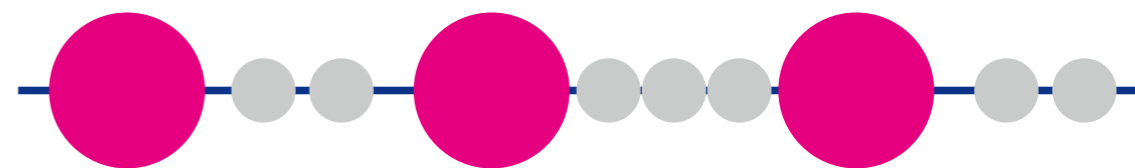
- POINTS 》》》
- 内容語と機能語を理解する。
 - 英語は内容語でリズムを形成する。
 - 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

音の強弱に違いがある。

日本語

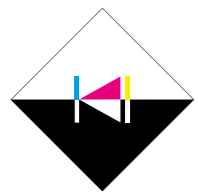


英語



日本語は常に全ての音を同じ強さで同じ長さで読む。

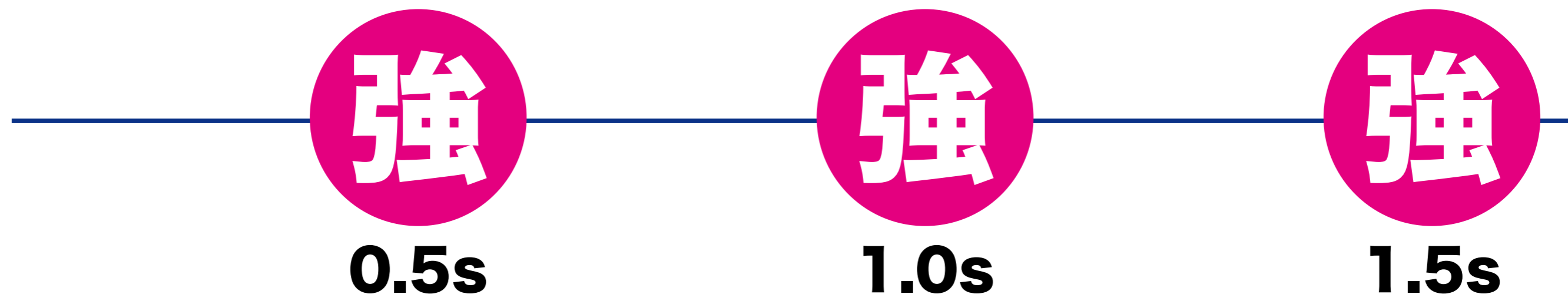
英語は強い箇所、弱い箇所があり、それぞれ発声される秒間も異なる。



- 内容語と機能語を理解する。
- 英語は内容語でリズムを形成する。
- 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

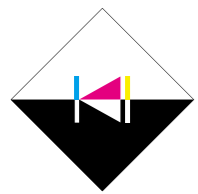
発音が強い箇所と弱い箇所

- 強い箇所は周期的に表れる。 → (英語のリズムを作り、明確に聞こえやすい。)



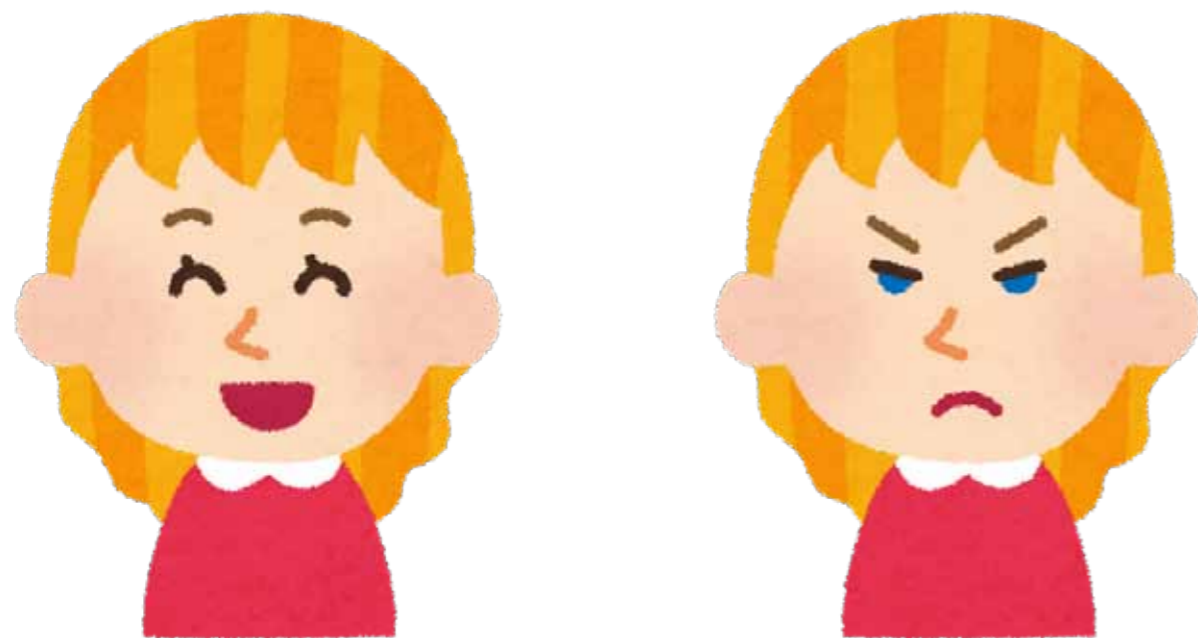
- 弱い箇所はリズムの波を繋ぐ → (音が詰まって早く聞こえ、聞き取りづらい部分。)





機能語と内容語

- 意味の重さが大きい箇所は**内容語**と呼ばれ、強くハッキリ発音する
- 意味の重さが小さい箇所は**機能語**と呼ばれ、弱くまとまって発音する
- それぞれ役割に違いが明確にあり、主役と脇役の関係性がある



POINTS

- 内容語と機能語を理解する。
- 英語は内容語でリズムを形成する。
- 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

内容語（主役）

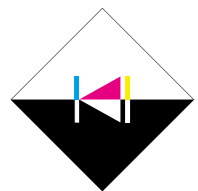
1. 常に一定のリズムで発音される。
2. 強くハッキリ発声し、全体のリズムを形作る。

- **名詞**
- **動詞 (be 以外)**
- **形容詞 (kind)**
- **副詞 (kindly)**
- **指示代名詞 (it, this)**
- **所有代名詞 (mine)**
- **疑問詞 (what, why)**

機能語（脇役）

1. 常に内容語のリズムに沿って発音される。
2. 弱く纏めて発声し、リズムを形成する際に音も変化する。

- **冠詞 (the, a, an)**
- **前置詞 (in, on, at)**
- **接続詞 (and, but)**
- **関係代名詞 (which)**
- **助動詞 (can, will)**
- **人称代名詞 (I, she)**



第三回 会話レッスン編

英語と日本語の発音の違い

英語の発音の捉え方

- 内容語を基準とし、リズムを作る。
- 機能語はいくら増えても読まれる時間は長さには影響しない。
- 機能語の発音の仕方を理解し、マスターすることは英語らしい発音の習得には欠かせない。



- POINTS ▶▶▶
- 内容語と機能語を理解する。
 - 英語は内容語でリズムを形成する。
 - 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

英語発音の練習

- 以下の5つの文は全て同じリズムで同じ長さで読むことができる。
- 機能語と内容語を意識して3拍子で読んでみよう。

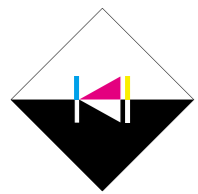
Kids play ball.

The kids play ball.

The kids are playing ball.

The kids are playing with the ball.

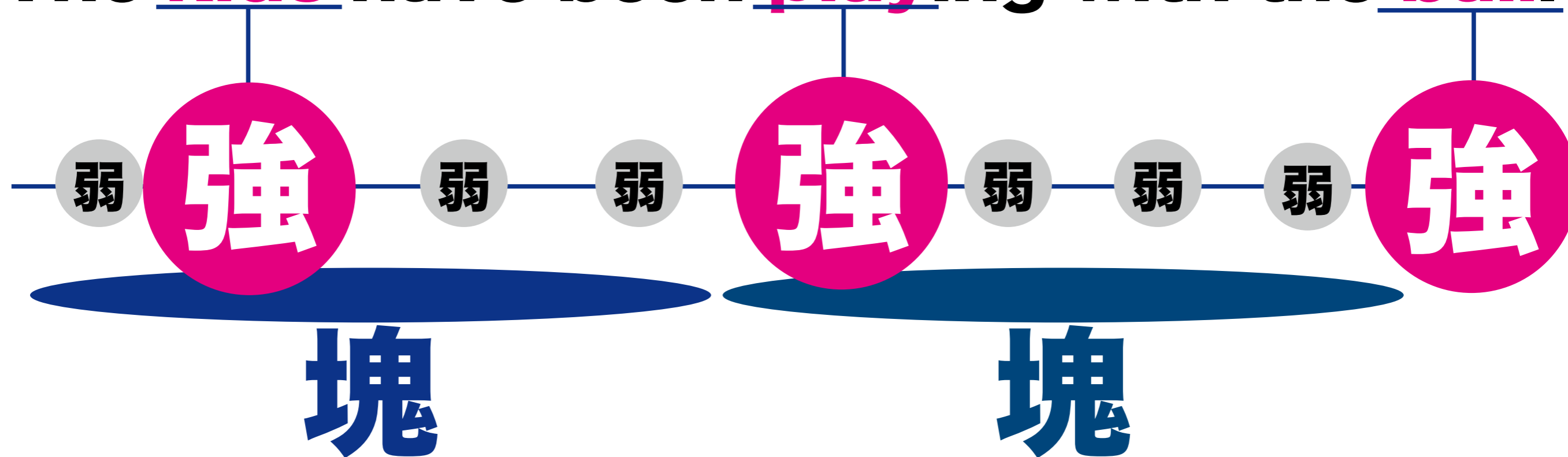
The kids have been playing with the ball.



- 内容語と機能語を理解する。
- 英語は内容語でリズムを形成する。
- 機能語の発音方法が上達の鍵になる。

機能語の発音の捉え方

The **kids** have been **playing** with the **ball**.



- 常に内容語のストレス部分から始まっている様に発音する。
- ストレス部分の前で音を止めて間を作る。
- 機能語やストレスを置かない部分は内容語の塊として捉えて発音する。